



### 総選挙を終わって — 改憲許さず、九条守りぬきましょう！

12月14日の総選挙。自民党・公明党の与党が3分の2を維持しました。1週間前からメディアが一斉に「自民300議席」との予想報道を發して、安倍政権の暴走を危惧する多くの国民に「無力感」と「政治不信」をつくり出し、投票率が史上最低の52.66%というもとでの結果です。小選挙区での自民党の得票率は48.09%、獲得議席は75.25%という選挙制度が改めて問題視されます。しかも、自民党は公示前より5議席減、得票も前回よりも減らしています。マスコミの自民党「圧勝」とか、「大勝」とかという表現は的確ではありません。

安倍首相はさっそく改憲議論を推進することを表明しました。自民党はこの総選挙の公約で、「憲法改正原案を国会に提出し、憲法改正のための国民投票を実施、憲法改正を目指す」と、明文改憲を明らかにしました。読売新聞の12月6日付の全候補者アンケートによると、自民党と維新の党の候補者の98%が憲法を「改正する方がよい」と回答、公明党も78%にのぼっています。

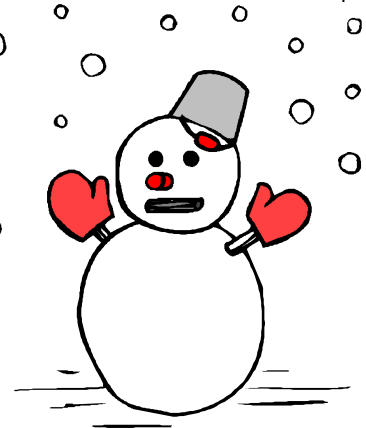
そして、改憲団体の「日本会議」が、「美しい日本の憲法をつくる国民の会」というものを10月1日に結成しました。この会を各都道府県にもつくり、2016年の参議院議員選挙で改憲の「国民投票」をおこなうという目標で、「1000万賛同署名」のとりくみや、自治体議会での改憲促進決議を上げていくことなど決めて、すでに各地でビラまきなど展開しています。まさに改憲のための国民運動をすすめようというものです。

しかし、国民は改憲を望んではいません。とりわけ9条については、NHKが7月におこなった世論調査でも「戦後、憲法9条が果たした役割を評価しますか」という問いに、76.5%が「評価する」と応えています。

こうした中で、総選挙では、沖縄で先の県知事選挙で、新基地建設反対の一点で保革の枠を超えて勝利した「オール沖縄」の共同候補が、全4区で勝利する快挙を成し遂げました。さらに、憲法9条を守り生かすことを掲げ続けている日本共産党が躍進したことは、大きな励ましとなりました。ここに希望の灯を見ることができます。

総選挙の結果をきちんと見据えて、改憲策動を許さず、「戦争する国」に断じてさせないために、改憲勢力の国民運動を上回る「九条の会」の草の根運動こそが求められているのではないのでしょうか。いまこそ「九条の会」の初心に立ってとりくんでいこうではありませんか。

(代田5丁目・高岡 岑郷)



### 集会等の紹介

1月25日(日) 午後2時～ 開場13時 入場料1,000円

調布九条の会「憲法ひろば」創立10周年記念

池辺晋一郎さんと平和を歌おう コーラスとトークのつどい

鼎談：池辺 晋一郎 / 奥平 康弘 / 堀尾 輝久、

合唱：調布「憲法のひろば」合唱団

場所：調布市グリーンホール(京王線・調布駅中央口前・徒歩1分)

主催：調布九条の会

～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、  
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

# 安倍内閣の改憲暴走を許さない! 九条の会集会&パレード

11.24 に参加して

「九条の会」が開催した「安倍内閣の改憲暴走を許さない」集会が11月24日に日比谷公会堂とエントランス前広場で開かれました。関東各地の九条の会からの参加者と、東北や北海道及び九州からの報告者をあわせて約2500人が集いました。

朗読劇、奥平康弘さんらの呼びかけ人からの挨拶に続いて、「憲法改憲の暴走に抗議する行動月間」に取り組む各地と各分野からの報告がありました。北海道からは、200を超える九条の会が結集し、道内で「閣議決定撤回と憲法九条を守り、生かすことを求める国会請願署名」に2万余筆を集めた取り組み、西東京市では各戸訪問による九条の会の宣伝と請願署名についてのきめ細かな取り組み、学芸大学の学生九条の会からピースナイト9の行動提起と「九条絵本」による子どもとの交流、他にも「宮城県九条の会」、「女性の会」などからも取り組みが報告されました。

集会参加者は、それぞれ「行動月間」に応じた独自の取り組みを行っており、各報告に対する拍手は、報告者に連帯の意を伝えるものであったに違いありません。「行動月間」の提起は、全国の7000を超える九条の会が連帯して行動する端緒を開きました。改憲の暴走に対抗するために、全国の九条の会が連帯して行動することを当面恒常化することが求められていると思われました。

集会の最後に小森陽一・事務局長より、「解散・総選挙という機会を積極的に受け止め、これを安倍内閣に審判を下す好機とすること」との事務局提案があり、大きな拍手で確認されました。

集会後、新調した「代田・九条の会」の幟を立て、銀座通りをパレードしました。「集団的自衛権行使の閣議決定を撤回せよ」、「日本を戦争する国にするな」などのプラカードを掲げコールとともに街行く人々に訴え続けました。

私は、会場案内係として、集会の運営に初めて携わりました。会場は満席で参加者の希望に応えられないこともありましたが、支障なく集会を進めることができ安堵いたしました。偏に参加者の皆様の気遣いのたまものと思っております。

(代田2丁目・坂本 功)



## 代田・九条の会の旗のもとに

11月24日、日比谷公会堂で開催された「安倍内閣の改憲暴走を許さない!九条の会集会&パレード」に参加しました。日比谷公園ではAKB48もどきの少女たちの歌声、九条の会を誹謗する拡声器の音が今の世相を表すか(?)のように響き渡っていました。

九条の会は元気な男性陣もいっぱい頼もしく、とくに若者の2グループの参加が心強く感じました。集会では非戦を選ぶ演劇人の会・ピースリーディング「9条を好きと言えなくなっ…」がものを言えなくなっている現状を、高橋長英・根岸としえさんらがユーモアでまぶしながらグサッと言いきっていたのに共感しました。また澤地久枝さんの勢いのあるお話と改憲を目論む輩を

「あいつら」と呼んで話される奥平康弘さんに拍手を送りました。これまで九条の会東京の集いなどで代田・九条の会のメンバーとお会い出来ず、1人参加でしたが、今回旗のもとに集えてパレードできうれしく思いました。

写真撮影:代田5丁目 小澤 満吉

(代田5丁目・日暮 恵子)

お願い: ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。  
また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。